



TBS、日本映画テレビ技術協会 映像技術賞 美術部門受賞！

映像情報メディア学会 技術振興賞でも2部門受賞！

2016年度日本映画テレビ技術協会主催の映像技術賞において、TBSテレビのドラマ「逃げるは恥だが役に立つ」が、美術(放送)部門を受賞しました。

同賞の美術(放送)部門で、TBS テレビの火曜ドラマ『逃げるは恥だが役に立つ』により TBS テレビビジュアルデザインセンター 船山和歌子、OXYBOT(株)(制作当時はFF 東放) 中村淳が受賞しました。

「逃げ恥」は、プロの独身を自負する‘津崎’と、職なし金なし彼氏なしの‘みくり’が、契約により事実婚を始めるという非日常を描き、‘ラブコメ’という枠を超え社会現象にまでなった作品です。2人が生活する津崎家マンション、津崎と同僚たちが集う IT 会社、津崎とは真逆な人生をおくってきたイケメン‘風見’のマンション、社員旅行で訪れる温泉旅館のセットをはじめとした数々の妄想パロディーシーン、そしてエンディングの‘恋ダンス’など、全てのセット・シーンの美術デザイン、CG が、この「逃げ恥」の世界観をつくりあげています。

特筆すべきは、連続ドラマという限られた時間の中で、ひとつひとつのセットやロケ、CG の世界観にこだわり、個々の出演者のキャラクターが「セット」で表現されるとともに「逃げ恥」的な‘リアリティ’とは何か、‘面白さ’とは何かを追求している点です。

授賞式は 11 月1日(水)に、六本木アカデミーヒルズ 49 オーディトリウムにて行なわれます。

平成 28 年度映像情報メディア学会 技術振興賞においても2部門同時受賞！

技術振興賞 進歩開発賞(現場運用部門)では、「アンテナシェアリングダイバーシチシステムの開発」により、TBS テレビ技術局 平林雅之、メディア戦略室 深澤知己が受賞しました。本件は昨年日本民間放送連盟賞に続く受賞です。

また技術振興賞 コンテンツ技術賞では、「ゴルフ中継におけるショットデータ CG システムの開発」により、TBS テレビビジュアルデザインセンター 青木貴則が受賞しました。

2部門同時受賞となり、TBS の技術力の高さをアピールしました。